

▶ パン製造業

高齢者雇用推進の手引き

～パン屋さんに役立つ方策と情報源～

全日本パン協同組合連合会
パン製造業高齢者雇用推進委員会



>> 目次

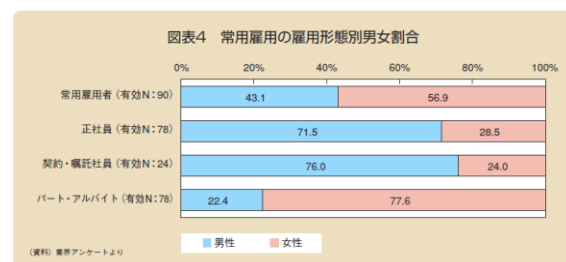
- I 高齢化の進行とパン製造業の現状
- II パン製造業における高齢者雇用推進の方策
- III 高齢者雇用に関する相談先・Web の情報源

全日本パン協同組合連合会にはおよそ 2,300 社が会員となっています。この会員を対象としたアンケート調査結果によると、パン製造業界は既に高齢者の雇用そのものは実現されていることがわかりました。そこで、業界全体としては、①既にそれぞれの会社で働いている高齢者に 65 歳まで、あるいは 70 歳までいきいきと働いてもらうこと、そして②他社や他の業界で働いてきた高齢者にも、新たに自社で働く機会を提供すること、この 2 つの観点を強調した内容となっております。

パン製造業の高齢者雇用の現状（アンケート結果）

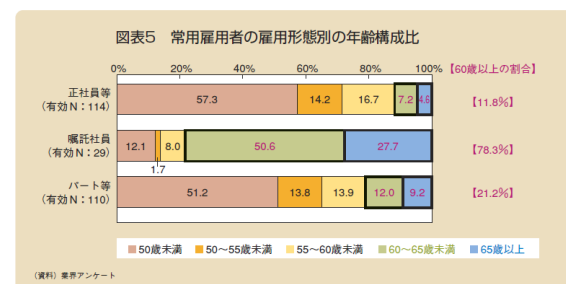
① 常用雇用者の男女割合と職種構成比

【回答結果】多くの女性パート・アルバイトの人が活躍



② 60 歳以上で働いている人の割合

【回答結果】60 歳以上の割合は、正社員で約 12%、嘱託職員で 78%、パート等で 21%と、他業種と比較しても高齢者活用が進んだ業界



③ 正社員の定年制の有無と定年年齢

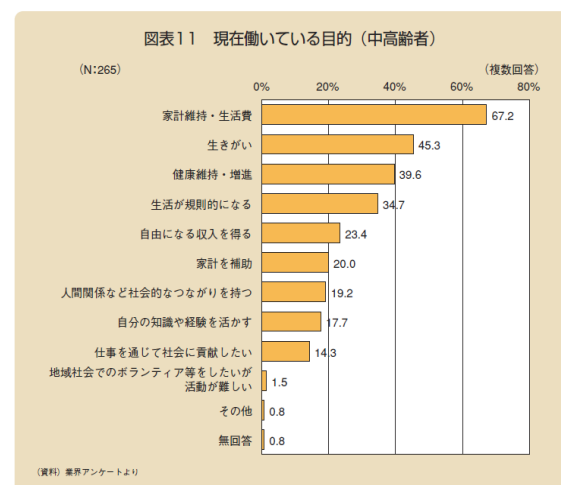
【回答結果】定年制のある企業の割合は約 8 割、ない企業は約 2 割

④ 継続雇用制度の有無と対象者

【回答結果】定年制のある企業で継続雇用制度のある企業は 8 割で、そのうち希望者全員を継続雇用制度の対象者とする企業割合は 57%

⑤ 現在働いている目的

【回答結果】中高齢者の「働く」という意識の中には、経済的な要素だけでなく、仕事を通じた「生きがい」や「社会参加」の継続を意向として含む



⑥ 高齢者雇用推進のために必要なこと

【回答結果】ニーズの高い各種制度改革(在職老齢年金、各種助成金の充実など)や紹介・派遣による外部機関の充実、雇用相談のサービス提供

パン製造業の経験がなくとも、経理に強い、食品会社の生産管理をやっていた、食品の販売業務に精通しているなど、様々な能力を持った人がいます。これらの人を新規採用して、自社の弱い部門を強化することも十分に経営にプラス効果が得られるでしょう。